



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

《研究代表機関》

東京大学大学院 医学系研究科・医学部

住所：〒104-0044 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部 3号館別棟 5階

電話：03-5841-3250（内線：23520）

研究責任者(研究代表者)：

東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学分野

東京大学医学部健康総合科学科 疫学・生物統計学教室 教授 松山 裕

(担当者の所属・氏名：深溝快志)

《共同研究機関／分担研究施設》

施設名：学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

研究責任者：聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村 武志

当院の予防医療センターで健診を受診された方を対象とした

非アルコール性脂肪性肝疾患に関する研究

1.研究の対象

2008年1月1日から2018年12月31日までに、聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診を受診された方

2.研究の目的・方法

非アルコール性脂肪性肝疾患(Nonalcoholic fatty liver disease : NAFLD)は肝臓に脂肪が蓄積する病気で、肝炎や肝硬変の原因や、心血管疾患との関連があることから重要な病気と考えられています。NAFLDは肥満の方だけでなく、肥満ではない方にも起こることが注目されていますが、リスク因子をもった人がそれぞれどれくらいリスクでNAFLDを発症するのかは明らかになっていません。そこで本研究では非肥満者を対象として、NAFLDの発症リスクを精度高く予測するモデルを作成し、予防や早期発見へとつなげることを目的としています。

なお、この研究は診療録(カルテ)に記載される内容についての研究のみになります。研究期間は、各施設の研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、既往歴、身体計測値、血液検査値、腹部超音波検査所見 等

4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診データのうち、研究対象となるデータを聖路加国際大学学術情報センターの実務者が抽出し、USBメモリにデータを移行します。このUSBメモリから直ちに東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野のデータ解析室にデータを移行します。このデータ解析室はインターネットから隔離された、施錠可能な専用のデータ解析室です。移行に用いたUSBメモリは情報漏洩につながらないように、データ移行後に物理的に破壊します。データと研究対象の方との紐付けされたリストは、当院の研究責任者が保管・管理します。なお、本研究の開始に際して新たにデータ抽出作業をすることはありません。上記方法により東京大学のデータ解析室で管理している既存データを用いて本研究を実施致します。

5.研究組織

《研究代表機関》

東京大学大学院 医学系研究科・医学部

住所 : 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 : 03-5841-3250 (内線:23520)

研究責任者：

東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学分野

東京大学医学部健康総合科学科 疫学・生物統計学教室 教授 松山 裕

(担当窓口：東京大学医学部健康総合科学科 疫学・生物統計学教室 深溝快志)

《共同研究機関・分担研究施設》

1. 学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院

住所 : 東京都中央区明石町 9-1

電話 : 03-3541-5151

研究責任者：聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村 武志